



2019年度 愛媛銀行寄付講座  
 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部  
 公開講座「風早の塾」

オルガンの音に  
 風琴の音に  
 さそわれて

参加無料  
 事前申込不要

未就学児  
 入場可

会場

聖カタリナホール  
 (聖カタリナ大学北条キャンパス内)

※なお、10/12(土)、12/21(土)は2号館1階211教室で実施

後援

愛媛県・愛媛県教育委員会・松山市・伊予市・松山市教育委員会  
 愛媛新聞社・南海放送・愛媛朝日テレビ

【お問い合わせ】聖カタリナ大学 総務課

〒799-2496 愛媛県松山市北条660  
 TEL: 089-993-0702 FAX: 089-993-0900  
 E-mail: soumu@catherine.ac.jp

7/13(土)

14:00~14:10(13:30開場)

開講にあたって

- 西川 義教氏(愛媛銀行頭取)
- ホビノ・サンミゲル氏(聖カタリナ大学学長)

14:10~15:40 開講特別プログラム

パイプオルガン レクチャーコンサート(チャリティー)  
 最古最大のマルチ楽器=オルガンは音づくりの実験場

- 演奏者 武久 源造氏(松山出身の鍵盤楽器奏者)
- 共演 山口 真理子氏
- オルガン製作者 須藤 宏氏

※同時開催:ボランティアフェスタ (詳細は裏面)

10/5(土) 14:40~16:10(14:10開場)

バッハをやれば世界が見える

- 橋本 眞行氏(松山バッハ合唱団主宰者)

10/12(土) ※2号館1階211教室で実施  
 14:40~16:10(14:10開場)

弦楽器とのふれあいのひと時を…

美しい音色を求めて(ヴァイオリン編)

- 大野 裕司氏(聖カタリナ大学短期大学部准教授)

11/9(土) 14:40~16:10(14:10開場)

ピアノトリオの時代に見る変遷と魅力

—ピアノ・ヴァイオリン・チェロによるアンサンブル—

- 尾海 あかり氏(聖カタリナ大学短期大学部非常勤講師)
- 長坂 拓己氏(くらしき作陽大学音楽学部特別講師)
- 中条 誠一氏(チェリスト)

11/16(土) 14:40~16:10(14:10開場)

ピアノの愉しみ 一名曲を聴こう—

- 西山 洋美氏(元・聖カタリナ大学短期大学部教授)

11/30(土) 14:40~16:10(14:10開場)

鍵盤は歌う—オルガン・チェンバロ・ピアノによる歌と祈り—

- 大澤 宣晃氏(聖カタリナ大学短期大学部非常勤講師)

12/14(土) 14:40~16:10(14:10開場)

合唱って何?—合唱音楽の特質—

- 三好 幸夫氏(聖カタリナ大学短期大学部名誉教授)

12/21(土) ※2号館1階211教室で実施

14:40~16:00(14:10開場)

音楽療法ってどんなことをしているの?

- 藤井 澄子氏(聖カタリナ大学短期大学部教授)

16:00~16:10

開講にあたって

- ホビノ・サンミゲル氏(聖カタリナ大学学長)

関連  
 行事

10/27(日) 14:00~15:30(13:30開場)

◆大学祭パイプオルガン演奏会

演奏者:ジョゼ・アブリル氏  
 (カナダ・ケベック州リムスキ音楽院教授)

◆公開オルガン体験会

体験会講師:管藤 泉氏



## レクチャーコンサート プログラム

7/13(土)

最古最大のマルチ楽器  
=オルガンは音づくりの実験場

オルガンの構造、作り方などを解説しながら、アレンジメントを中心とした曲を演奏します。オルガンという一大文化の中で、人間がいかなる創意工夫を編み出してきたのか、興味をそそってやまない歴史の一端に触れます。

- A. ヴィヴァルディ=J.S. バッハ オルガン協奏曲 ハ長調 より
- A. ヴィヴァルディ=武久 協奏曲集「四季」より 春
- F. メンデルスゾーン=武久・山口 交響曲第4番 イ長調 イタリア より
- A. ギルマン ヘンデルの「門の戸よ、上がれ」によるマーチとフーガ

同時開催 7/13(土) 10:00 ~ 16:00 (一般開放)

### ボランティアフェスタ

Restart 一物語は動き出す

★かがくあそび工房

★講演会

カタリナ×SDGs

(Hunger Zero \*国際飢餓対策機構)

SDGsのゴール2(飢餓をゼロに)達成のために!

★バザー ★フリーマーケット ★ビンゴ大会 ★展示 など



10/5(土)

バッハをやれば世界が見える

バッハ作品を40年以上演奏してきた経験から、バッハとバッハの音楽の魅力を語り、現代におけるバッハ演奏の諸様相を考えます。

10/12(土)

弦楽器とのふれあいのひと時を…  
美しい音色を求めて(ヴァイオリン編)

弦楽器の歴史やそのしぐみを紐解きながら、ヴァイオリンを通して、美しい音色の奏で方など、実際に体感していただきます。

11/9(土)

ピアノトリオの時代に見る変遷と魅力  
—ピアノ・ヴァイオリン・チェロによるアンサンブル—

古典から近・現代に至るピアノトリオ作品の変遷をたどり、同じジャンルでも、作曲家や時代背景によって全く違う作風であることを、ライブでしか味わえない演奏とともに聴き比べていただきます。

11/16(土)

ピアノの愉しみ 一名曲を聴こう

誰でも一度は耳にしている名曲を、曲にまつわるエピソードや歴史や時代背景など解説付きで、生の演奏で楽しんでいただきます。

11/30(土)

鍵盤は歌う  
—オルガン・チェンバロ・ピアノによる歌と祈り—

声を発しない鍵盤楽器奏者がいかにして歌おうとしているのか。各楽器の特徴や作曲家の工夫を紹介しながら、様々な時代の歌と祈りにまつわる作品をお聴きいただけます。

12/14(土)

合唱って何? —合唱音楽の特質—

合唱音楽の起源は種々考えられ、西洋音楽の多声化の歴史をたどりながら合唱の特質を探ります。キーワードはコミュニケーション。「四季の歌」を題材として、オルガナムやモテトゥス、カノンなどの技法を解説します。

12/21(土)

音楽療法ってどんなことをしているの?

音楽で元気が出たり、心を癒されたりした経験をお持ちの方は多くいらっしゃるでしょう。ここでは、音楽療法についての概要と実際にどのような方法で行われているのかを紹介し、少し体験をしていただければと思っています。

## 聖カタリナホールと パイプオルガンについて

### 聖カタリナホール

1979(昭和54)年11月完成。鉄筋コンクリート及び鉄骨構造、地上2階。銅板大和葺。座席数1200。平均残響2.4秒。設計・施工は竹中工務店。

### パイプオルガン

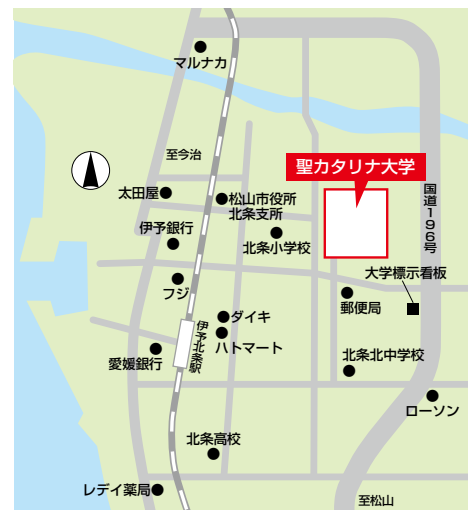
1981(昭和56)年11月、聖カタリナホールにパイプオルガン完工。設計は須藤宏氏。製作・組み立ては須藤オルガン工房。パイプ数2591本、ストップ38、3段の手鍵盤とペダル鍵盤。フランス様式。1800年代のフランスのオルガン製作者カヴァイエ・コルの様式を手本にしたもの。須藤オルガン工房での製作に3年、聖カタリナホールでの設置に5ヶ月を要した。現在もお、西日本屈指、四国最大規模のオルガンである。

本学のパイプオルガンは、2001(平成13)年3月24日の芸予地震の際に、パイプ脱落という大きな被害を受けましたが、多くの音楽愛好家や地域の方々からのご寄付とご協力により、翌2002年に修復されました。その後、感謝の気持ちを込めて、年齢を問わず広く地域の皆様にオルガンの音色を楽しんでいただこうと、毎年大学祭のイベントとして無料の演奏会を企画しております。

また、本学には保育学科があります。幼児教育の学科がある大学として、小さな子どもたちに、音楽を通して豊かな心情を育てていただきたいと思ってもこの演奏会に込め、未就学児の入場を可としております(なお、お子様が静かに聴けない状態の時は、こちらから声をかけさせていただく場合もございますので、予めご了承ください)。

## ACCESS

聖カタリナ大学: 松山市北条 660



[J R] 松山駅—伊予北条駅 約25分(特急約12分)  
今治駅—伊予北条駅 約40分(特急約25分)  
伊予北条駅—聖カタリナ大学 徒歩12分

[自動車] 松山市中心より 約30分  
今治市内より 約40分

[伊予鉄バス] 松山駅—辻町 約45分  
辻町—聖カタリナ大学 徒歩約15分

※自家用車でお越しのお客様へ

当日は約150台収容の駐車場を準備しておりますが、混雑が予想されます。時間に十分な余裕をもってお越しくださいようお願いいたします。